



第31期生 (2014年入学)

卒業 **見込み** 部員 16名の顔ぶれ



2017年春季・徳之島キャンプにて

長橋 きらやか銀行 **社会人野球** に内定 菅野_(春)・三部・吉田が警察官採用

当部4年の内野手・長橋卓海（人間科学部現代社会学科）が社会人野球チーム・きらやか銀行硬式野球部（本拠地・山形市）に進むことになりました。同部は、1952年、前身の山形相互銀行時代に社会人野球の企業チームとして発足した古参チームであり、近年は2016、17年と連続で都市対抗野球大会に出場するなど、東北地区を代表する社会人野球チームへと急成長を遂げています。

長橋選手の今後の活躍をご期待下さい。

また4年の菅野春希（コミュニティ振興学部コミュニティ文化学科）、三部玲（国際学部経営学科）が茨城県警察、吉田将太（人間科学部現代社会学科）が栃木県警察の採用試験に合格しました。昨年の消防職員2名採用（日立市消防本部、石岡市消防本部）に続く公務員採用試験合格者となります。

当部4年生（第31期・2014年入学生）16名の顔ぶれを紹介します。



4

木村 悠

内野手 (右・右)
コミュニティ 振興学部 コミュニティ文化学科
宮城県石巻商業高等学校
出光興産株式会社

初心を忘れず、
頑張れ！！



5

川井 洸輝

内野手 (右・右)
人間科学部 現代社会学科
水城高等学校
株式会社日立物流東日本

今を大事に！！



7

長橋 卓海

内野手 (右・左)
人間科学部 現代社会学科
常磐大学高等学校
株式会社きらやか銀行

一部昇格を目指して
頑張ってください



10

蛭田 湧斗

捕手 (右・右)
国際学部 経営学科
聖光学院高等学校
学校法人タイケン学園

充実した学校生活を送って下さい。
今後の人生を見据えて
日々頑張ってください。



11

吉田 将太

投手 (右・右)
人間科学部 現代社会学科
栃木県立茂木高等学校
栃木県警察

4年間、
ありがとうございました。



21

工藤 徳太郎

捕手 (左・左)
国際学部 経営学科
東北生活文化大学高等学校
株式会社仙台銀行

野球部の生活は私の人生にとって
かけがえのないものになりました！！



24

中島 和輝

内野手 (右・右)
人間科学部 教育学科 中等教育コース
土浦日本大学高等学校
東日本電信電話株式会社

残り少ない学生野球生活を
悔いのないよう過ごして下さい。



25

菅原 大暉

内野手 (右・右)
人間科学部 教育学科 中等教育コース
土浦日本大学高等学校

4年間、
ありがとうございました。



28

鈴木 宏弥

内野手 (右・右)
国際学部 経営学科
花咲徳栄高等学校
株式会社ヤマカミ

一瞬一瞬を大切に
頑張れ！！

30



赤塚 康平

内野手 (右・右)
コミュニティ 振興学部 地域政策学科
東北生活文化大学高等学校
株式会社三栄建築設計

悔いのないように、
日々頑張ってください。

31



雁部 聖士

外野手 (左・左)
国際学部 経営学科
東陵高等学校
株式会社仙台銀行

常盤大学野球部で学んだ経験をいかして
社会人人生をがんばりたいと思います。

42

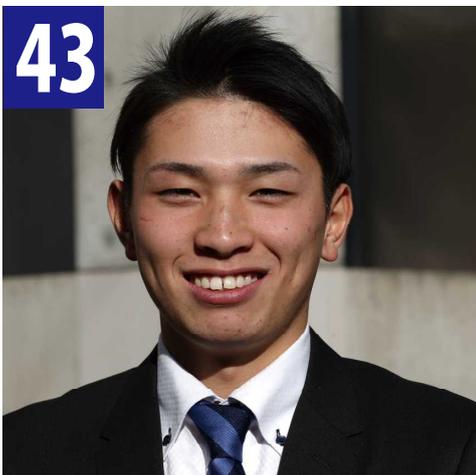


菅野 春希

投手 (右・右)
コミュニティ 振興学部 コミュニティ文化学科
宮城県石巻商業高等学校
茨城県警察

4年間、
ありがとうございました。

43



三部 玲

内野手 (右・左)
国際学部 経営学科
福島県立勿来工業高等学校
茨城県警察

ケガに気をつけて
最後まで楽しんで終われるよう
がんばってください。

44



菅野 光哉

投手 (右・右)
人間科学部 現代社会学科
尚志高等学校

愛しています！

52



柏口 大輔

学生コーチ
人間科学部 心理学科
鹿島学園高等学校
株式会社日立ライフ

時間は有るようで無いので
毎日を大切に過ごして
悔いの無いようにしてください。

53



植田 泰仁

学生コーチ
国際学部 経営学科
東北高等学校
株式会社恒和薬品

後悔のないよう
頑張ってください。

背番号

凡例

氏名

ポジション
所属学部 学科 コース
出身高校
進路

メッセージ

父母の皆様へ

4年間という、長いようで短い時間ではありましたが、父母の皆様には多大なるご支援、ご声援をいただきました。私たち常磐大学硬式野球部4年生は、3年次秋のリーグ戦は優勝するものの、入れ替え戦においては勝利することができず、二部残留という形に終わってしまいました。また、部員全員で悔しさを胸に冬の練習に取り組んで臨んだ春のリーグ戦ではありましたが、4年生がふがいない結果を出し、2部リーグ3位という成績におわってしまいました。4年生がチームを背負って何とか良い成績を収め、監督、父母の皆さんに一つ、恩返しをしたいと望んでいましたが、志半ばで終わってしまい、正直、悔いの残る形となってしまいました。

私たちの成し遂げられなかった一部昇格という目標は、後輩に託す形となります。

後輩たちは私たちよりもはるかに実力はあると思います。しかし、大所帯ということもあり、まだチーム力としては至らない点も数多くあるでしょう。今秋は一部昇格とはいきませんでした。来春はきっと一部昇格を決めてくれることと信じています。父母の皆様におかれましては私たちの代は終わりましたが、今後も常磐大学野球部へのご支援、ご声援の程、よろしくお願い致します。

4年生一同は、それぞれの道へと進み、今度は立派な社会人として、親孝行をしていきたいと思っております。これまで支えてくださりまして、ありがとうございました。

常磐大学体育会硬式野球部 第31期主将

蛭田 湧斗

硬式野球部 第31期生の軌跡

【2014年度】（1年次）

4月 常磐大学入学

■春季リーグ 1部リーグ5位

■秋季リーグ 予選リーグ（栃木・埼玉・茨城地区）3位
決勝リーグ 5位

※2014年秋季リーグは地域制で実施

【2015年度】（2年次）

■春季リーグ 1部リーグ6位

入れ替え戦で2部に降格

■秋季リーグ 2部リーグ2位

【2016年度】（3年次）

■春季リーグ 2部リーグ2位

■秋季リーグ 2部リーグ優勝

入れ替え戦で敗退、2部残留

【2017年度】（4年次）

■春季リーグ 2部リーグ3位

■秋季リーグ 2部リーグ3位

2018年3月 常磐大学卒業予定

